



慶應義塾大学ビジネス・スクール

Netflix 2021 年

5

1 沿革

Netflix, Inc. (以下、「ネットフリックス」) は、世界 190 カ国以上で約 2 億 400 万人が有料で利用する定額制動画配信サービスを展開している会社である^[1]。ネットフリックスのサービスでは、さまざまなジャンルや言語のテレビドラマ、ドキュメンタリー、映画がオンデマンド形式でネット配信されている。支払いは月額固定額で、見放題のコンテンツについては視聴時間に制限のない、いわゆるサブスクリプション(サブスク)となっている。動画は、いつでも再生、一時停止、再開が可能で、コマーシャルはない。

10

ネットフリックスは、1997 年 8 月にリード・ヘイスティング (Reed Hastings) とマーク・ランドルフ (Marc Randolph) によって、アメリカ合衆国カリフォルニア州で NetFlix.com として設立された^[2]。ヘイスティングスは、映画『アポロ 13』のビデオテープを返却した際に、40ドルの延滞金を払わされたことがきっかけで、ビデオテープの郵送レンタルのアイデアを思いついたという。

15

高画質の映画を 1 本収録できる DVD は、その年の春に発売されたばかりで、DVD を再生できるハードウェアもまだまだ高価だったが、ネットフリックスは DVD が映画視聴の主流になると考えた。まだまだ、DVD を扱っているビデオ店が少なく、DVD は小型で軽量であったため、郵送レンタルに適していた。

20

1998 年 4 月 14 日、ネットフリックスは、従業員 30 名で、925 タイトルのレンタルを開始した。当初、7 日間の DVD レンタルを 4ドルと送料 2ドルで提供していたが、ディスクを追加で借りると料金が下がる仕組みであった。より長く DVD を手許におくためには、追加料金を支払う必要があった。また、新品の DVD を最大 30% の割引価格で販売する (現在は販売停止)。ネットフリックスのウェブサイトでは、映画

25

^[1] 以下、とくに断わりがない限り、このケースの情報は、Netflix, Inc. の 2021 年 12 月期の Form 10-K (米国証券取引委員会へ提出される年次報告書) の記載による。

^[2] 以下の情報は、Netflix, Inc. History, <http://www.fundinguniverse.com/company-histories/netflix-inc-history/>, 2022 年 3 月 27 日閲覧による。

このケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール教授 太田康広がクラス討議の資料として作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール (〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法 (電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない) による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 太田康広 (2022 年 3 月作成)